

# 民報 ゆうばり

# 福島原発事故 今も進行中!

## 高レベル放射性廃棄物のお守りに100万年!

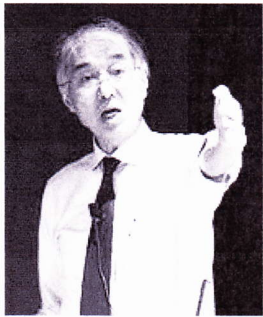
9月14日、札幌市民ホールにおいて、京都大学原子炉実験所の小出裕章氏による「私たちの未来と原発」(医療9条の会主催)が開催され、会場は1500人を超す参加者であふれました。講演の一部をご紹介します。

### 事故は収束していない

● 3・11に運転中だった1号機から3号機は、すでに溶け落ちた炉心、それが今、どこにあるかすらわからない状況、汚染水があふれている。

### セシウム137汚染は、大気中だけで広島原爆168発分

● 果てしない放射



● 能の封じ込め作業と労働者の被爆。● すでに大量放出された放射性物質。● 今現在、そして今後も続く住民の被爆。● 放射線管理区域とは、そこで「水さえ飲んではいけない」という区域。● 1平方メートル当たり、4万ベクレル

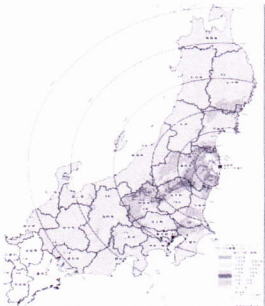
## セシウム137汚染は、大気中だけで広島原爆168発分 4号機の使用済み燃料プールの底には1万4千発分を超える!

の汚染を受けたら管理区域。しかし、今、日本政府が避難させているのは、放射線の管理区域の中でさえも許されない、猛烈な汚染地域、60万ベクレルの地域(1千平方キロメートル)琵琶湖(1・5個分)だけ

を中心にして、宮城県と茨城県の南部、北部・さらに、栃木県、群馬県の北半分、千葉県の北部、岩手

10〜6万ベクレルという高濃度で大地全部が汚染されている。

● 本当は東北地方と、関東地域



を城に、宮城県の南部、茨城県の南部、栃木県の北部、群馬県の北半分、千葉県の北部、岩手

### 会社という組織の長さ (2013年)

日本で原子力発電が動き始めて(1966年)から	47年
現在の9電力会社ができて(1951年)から	62年
日本初の電力会社(東京電灯)ができて(1886年)から	127年
低レベル放射性廃棄物のお守り (現在青森県六ヶ所村に埋め捨てにしている)	300年
忠臣蔵の討ち入り(1702年)から	311年

### 国家という組織の長さ (2013年)

明治維新(1868年)から	145年
アメリカ合州国建国(1776年)から	237年
邪馬台国(卑弥呼)から	約1,800年
神武天皇(?)即位から	2,673年
高レベル放射性廃棄物のお守り (現在、埋め捨て場所すらない)	1,000,000年

### 癌・遺伝的影響の発生率は、低線量でも被曝量に比例して増加

● ICRP (原子力推進派) | 2007年勧告(要約) | 約1000ミリシーベルト以下の線量においてがんの場合、疫学的・実験的研究が放射線

### 歴大に生みだされる無毒化できない放射能

● 原発はトイレのないマンションと同じ ● 原子力を利用すると核分裂生成物等の放射性物質を生み出



医療9条の会・北海道HPより

命が根付けた稀有の生態系を維持するには、エネルギー浪費を抑えるしか道はない。 ● エネルギーの浪費を抑え、人類の未来、子どもや孫たちのために、大人たちが力を合わせて、できることを根気よく、しっかりとやっていくことが、と呼びかけました。

# 「新婦人まつり」

9月21日、「ゆーばり新婦人まつり」が、はまなす会館で開催され、35名が参加しました。



国や道にあることをあきらかにしてきた事。生命よりお金が大事という政治の現実を発信して、大きく共感が広がっている事。福祉切り捨ての増税の実態などを鋭く指摘しました。開会式後は、レイ

ラ化粧品の方の話、ミニ運動会、ビンゴ大会、被災者支援のバザーなどが行われました。



「ミニ運動会、魚釣りゲームで盛りあがる」

開会式では、久世会長のあいさつの後、来賓の夕張労働議長の筒井さんが、JRの問題を取り上げ「働く者同士の連携が薄くなっている。今こそお互い連携・交流して安全を守る事が大事」と、話されました。また、日本共産党のくまがい市議はあいさつで、「夕張の財政破綻の責任が

## 「全道の母親、女性たちが憲法の語り手になろう！」

### 北海道母親大会開く

第56回北海道母親大会が、9月21日、札幌市で開かれ、夕張からも14名の女性たちが参加しました。

午前中は、「女性の権利」や「子どもと教育」など10の分科会、特別分科会、午後からは全体会が行われ、のべ1700名が学び、語り合いました。

全体会では、「年金引き下げ」「矢臼別演習場の着弾事件」「生活保護費引き下げ」について、3名の女性が報告しました。講演は、伊藤真弁護士が「私が幸福になるために生まれ守り輝かせよう」と題し「生命を育て生命を守るのと同じように、憲法を育て守るのは母親の力だ」話されました。

大会後、母親パレードが行われました。



## 国会「かけある記」

日本共産党 参議院議員

紙 智子

「アジア政党国際会議に参加して」

ソウルで開催されたアジア政党国際会議の第二回女性会合に参加しました。アフガニスタン、アゼルバイジャン、バングラデシュ、ブータン、カンボジア、インドネシアなどアジア二十一国から三十二政党の代表が参加。日本からは、民主党と日本共産党が参加しました。

女性のリーダーシップと社会的地位向上をテーマに、政治や経済への参画、平和のために果たす女性の役割について、各国の具体的な経験、前進に向けた奮闘が報告されました。しかし、全体として、道半ばであり、さらなる努力が求められています。

私は、日本での女性の地位向上への取り組みの到達点と日本共産党の役割に触れながら、世界の平和、北東アジアの構築のためにも、信頼回復の障害となっている日本政府の歴史認識問題の解決が急がれていること、日本軍慰安婦問題についても日本政府による誠実な解決への努力を働きかける共同の法案提出に取り組んできたことなどを紹介し、一日も早い解決への決意を述べました。

「日本の中で被害者の声を直接聞き、解決に努力していることに感激した」と握手を求めてくる人や、「発言原稿をほしい」と、反響があり、国内での取り組みを知らせることも大切だと痛感しました。

二〇一五年に開催が予定されている世界女性会議に向け、新たな課題や、世界の変化に正面から取り組む事などと呼びかけた、「ソウル宣言」を採択し閉会しました。